

令和5年度
学輪IIDA全体会 公開セッション

地域を元気にする ストーリーを描こう！

2024.1.20 土 13:30 ▶ 18:15 【受付13:00~】
ムトスぷらざ 2階多目的ホール

どなたでも自由にご参加いただけます。当日、直接会場へお越しください！

人口減少や気候変動、世界的なパンデミックや終わりの見えない紛争。そんな社会の中で私たちのくらしや地域のことを考えると、気が付けばいつも「課題、課題、課題・・・。」なんてことはありませんか？
でも、実は私たちの地域の未来は、可能性に満ち溢れているんです！
今、世の中では、多くの人が力を合わせて脱炭素社会の構築やGX・DX推進といった難題に果敢にチャレンジし、持続可能な未来を創るための革新的な技術が次々と開発されています。そして、固定観念にとらわれない新しい価値観や生き方・働き方が生まれてきています。今回の学輪IIDA全体会では、そんな様々な可能性を捉え、私たちの地域社会の未来につなげるための方策をみんなで考えます。あなたも一緒にしませんか？

13:30- 大学連携の取組紹介

「学輪IIDA共通カリキュラムの取組」

報告者：楨平龍宏先生（大月短期大学）

「デジタルアースで地域課題の解決 地理総合（高大連携ESD・SDGs）の取組」

報告者：福井弘道先生（中部大学副学長・中部高等学術研究所所長）

14:30- パネルディスカッション

「地域を元気にするストーリーを描こう！」

新たな時代を想像し、新技術の活用方法や多様化する新たな担い手との連携・協働の在り方など、飯田の未来の可能性を考えます！

コーディネーター：朝岡幸彦先生（東京農工大学）

パネリスト：牧野篤先生（東京大学）

福井弘道先生（中部大学）

大串恵太先生（追手門学院大学）

16:15- 飯田学大学〈全10講座！〉

地域内外の様々な知に触れ、混ざり合う時間。

まだ知らない世界へ飛び込んでみよう！

※詳細は裏面参照

学輪IIDA を知っていますか？

飯田に興味関心を寄せる大学等研究者のネットワーク組織、それが学輪IIDAです。現在140名以上の先生が所属し、様々な専門を持った先生たちが全国から集まって、飯田を舞台に調査研究をしたり、大学生を連れてフィールドワークをしたり、地域のみなさんと一緒に講座や学習会などもやっています。「大学の先生に聞いてみたいことがある！」、「地域のことを一緒にやってほしい！」などあれば、飯田市大学誘致連携推進室までお問合せください。

飯田学 大学プログラム

市民も学生も大学研究者も、みんなでつくる学びの輪!それが飯田学 大学です。3つのルールをよく読んでから自由を楽しみましょう。

その1:前半と後半を自由に組み合わせて参加するべし。

その2:各教室は当日先着順。気になるところへ急いでいくべし。

その3:なによりも、お互いの好奇心・知的探求心を大切にすべし!

教室

前半 16:15-17:10

後半 17:20-18:15

3階

A

メタバースを活用した社会教育の方向性

儀間敏彦先生 (東海大学)

儀間ゼミでは、思考のとらえ方の話や、実務的な思考方法についてゼミナール形式で、そのノウハウを共有します。

キーワード:メタバース、頭在意識と潜在意識、潜在能力アプローチ、社会有機体観、原子論的社会観

デジタルデータで地域を考える

～飯田女子高校における授業実践～

松本大学/中部大学/EPO中部

デジタルアースを活用して飯田市の地域課題の原因と対策を考えるワークショップを、飯田女子高校の1・2年生を対象とした地理総合の授業として行いました。高校生視点による地域課題の整理を中心にご紹介します。

3階

B

染・テキスタイルアート

～デザイン系学生たちが取り組む「地域と連携するものづくり」～

田中洋江先生 (飯田短期大学)

生活科学学科でデザインを学ぶ学生たちが、飯田の染物会社や手漉き和紙の職人たちと共同制作、商品開発、作品制作、展示を行った事例を写真でご紹介します。学生たちが学外へ出かけることで得られた学び、交流報告についてもご報告いたします。

災害時、備蓄食品をどう食べるか?

高木一代先生 (飯田短期大学)

災害で電気・ガス・水道が止まった時、自宅で備蓄している食品は食べることが出来るのか?カップラーメンやアルファ化米で実際に試し試食します。また、食品を備蓄することの重要性についても学びます。

3階

C

伊那VALLEY映画祭のこれまでと今後

高柳俊男先生 (法政大学)

2019年から毎年、伊那市の伊那食品を会場に、「伊那VALLEY映画祭」を開催してきました。5回目を終えたいま、開催の経緯、取り上げた約60作品の内容、この映画祭の特徴、成果や今後の課題について、ともに考えたいと思います。

伊那谷の自然と文化を未来へつなぐ

草郷孝好先生 (関西大学) & 伊那谷の自然と文化社会教育機関連携PJ

伊那谷の自然と文化は、地域アイデンティティの源であり、この地域に生きる私達の誇りでもあります。今回、市民協働のもとに次世代へ継承していくために社会教育機関が連携してプロジェクトを立ち上げました。その活動の様子を報告し、今後の方向性を参加者の皆さんと一緒に考えます。

3階

D

大学とは何か?大学の起源から今どきの大学を考える

小畑力人先生 (大阪観光大学)

大学は、いつ・どこで・どのように誕生したのか?そこから大学の発展と“理念”を探ります。そして、日本の大学の“今”と“これから”を展望して、「日本一住みたいまち飯田」の大学構想につながればいいなと思います。

『うごくる。』でつくる『ステキな未来』

飯田市ゼロカーボンシティ推進課

人類共通の課題である、地球温暖化、気候変動、カーボンニュートラル・・・環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」は、学び・対話・行動を通じ、2050年いまだゼロカーボンシティへの道のりを「地域ぐるみ」で「たのしく」歩みます。

2階

ホール

東京で水引ブランディング — 人と人とを結ぶ —

津田塾大学のみなさん

津田塾大学と飯田市との産学官連携では、学生の視点から飯田の魅力発信や水引ブランディングを行っています。東京で飯田発信をする意義や学生の飯田への想いを、津田塾大学の取り組みとともにご紹介します。

トークセッション

大学生が飯田の未来を変える!

津田塾大学のみなさん

津田塾大学と飯田短期大学の学生が、飯田への想いを語り、守りたい魅力、かなえたい未来を考えます。東京と飯田の大学生が、会場の皆様との対話を通じて、未来をよりよく変えてゆける企画を育てたいです。